

はじめてのエンカウンター

名城大学 曾山和彦

2010.5.30

人間関係が希薄・表層的な現代社会

環境の変化

- ◆ 情報化、スピード化
- ◆ 三間(時間、空間、仲間)の消失
- ◆ 核家族化 等



昔に比べ、人との**かかわり不足**の子どもたち、大人たち

人が元気になる・成長するには

人とかかわる、つながる = ふれあう

- ◆ ふれあいは人を癒す
- ◆ ふれあいは人を育てる
(= 新たな自己に気づく)

ふれあい促進(= あたかな関係づくり)の技法としてエンカウンターが注目を浴びている

エンカウンターとは

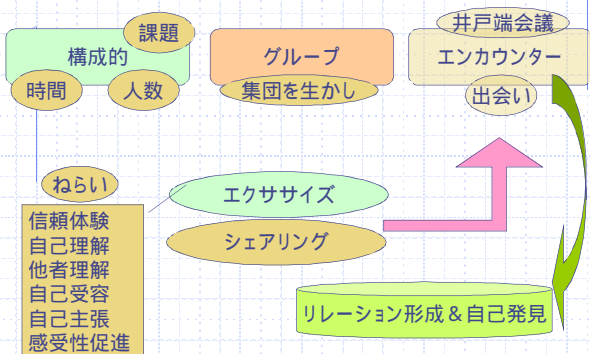
出会い

- ◆ 自分に出会う
- ◆ 他者に出会う
- ◆ 人生に出会う



'出会い'が人間的成長を促進する

正式名称は「構成的グループ・エンカウンター」



リレーション

~エンカウンターでめざすもの~

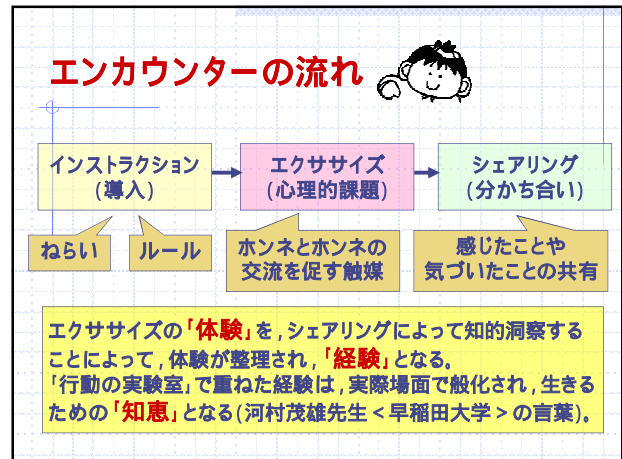
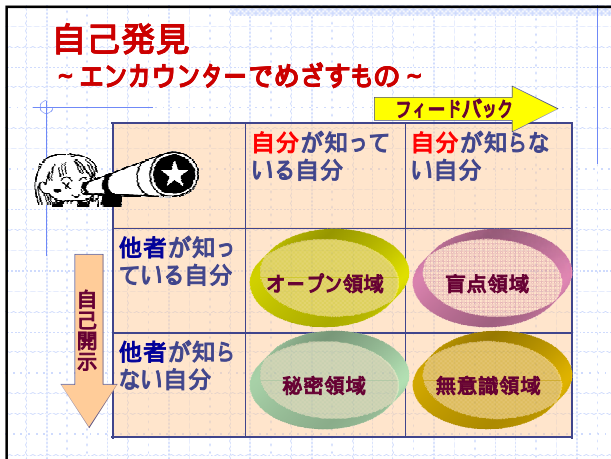
ラポール
プラス同士の感情交流

リレーション
プラス、マイナス共に含む感情交流

付き合いはじめての男女の関係

結婚生活の長い夫婦の関係





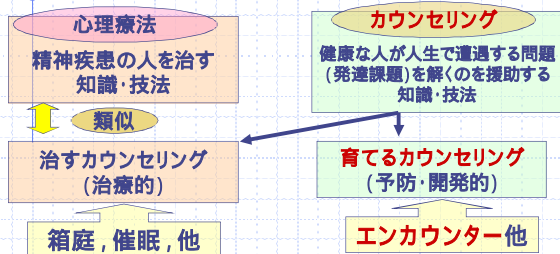
- ### 構成・型・技
- ～齋藤孝先生(明治大学)の言葉～
- ◆ 構成(枠)があるから、自由になれる
 - ◆ 型の3要素:「誰でもその場で教えられる」、「誰が教えても同じようにできる」、「誰がやっても同じ効果がある」
 - ◆ エンカウターは型をもっている。熟練された型は「技」となる

- ### シェアリングはなぜ大切か
- ◆ 現代は大人も子どもも、自分の感情(気持ち)を見つめる、解放することが不足がち
 - ◆ **まずは、「快・不快」に焦点を当てて見つめる、解放する**
 - ◆ 自分の感情を見つめる、解放する、他者の感情に触れ、さらに自分の感情を見つめる、解放する体験がシェアリング
 - ◆ シェアリングにより、「**リレーション形成 & 自己発見**」が促される

- ### シェアリングの工夫
1. 原型発問:「気付いたこと、感じたことを発表してください」まず、快 - 不快からでも
 2. 原型では出にくいとき 目的に沿って気持ちを探る:「いいところを話してもらい、どんな気持ちでした?」
 3. 話すのが苦手な子どもが多い場合、シートに記入させ、シートを交換して読みあう
 4. グループサイズは2人 4人へ;「二人で話したことを紹介してください」

- ### シェアリングでの沈黙
- ◆ 沈黙を恐れなくてよい。沈黙の中にも、個々の心の内では振り返っているの、それでよい。順番に話をさせる必要もない。大切なのは、短い時間でも自分の気持ちを振り返る時間をもつこと
 - ◆ ただし、沈黙だけでは、他者の気づきを分かち合えないため、徐々に沈黙の解消を目指すこと

心理療法、カウンセリング そして、エンカウンター



参考例: 精神分析理論を基に「精神分析療法」があり、「精神分析的カウンセリング」がある。

Let's Encounter !

子どもも大人も、全ての人は
人の中でしか人になることはできない

- ◆ふれあいの場をつくる！
- ◆ふれあいの場に参加する！

ワークショップへの参加 &
エンカウターの活用を！

本日のエクササイズ

- ◆ 探偵ゲーム (信頼体験 & 自他理解)
- ◆ ネームゲーム (信頼体験 & 自他理解)
- ◆ 質問ジャンケン (信頼体験 & 自他理解)
- ◆ ゴジラとゴリラ (信頼体験)
- ◆ インタビュー (自他理解)
- ◆ いいとこ四面鏡 (自己受容)

初めての方 **Let's Encounter !**
ベテランの方 相手 & 場所が変われば気づきも変わる！

参考文献

- ◆ エンカウンター、國分康孝、誠信書房
- ◆ エンカウンターで学級が変わる、國分康孝、図書文化
- ◆ グループ体験による学級育成プログラム、河村茂雄、図書文化
- ◆ ワークシートによる教室復帰エクササイズ、河村茂雄、図書文化
- ◆ 厳選！教員が使える5つのカウンセリング、米田薫、ほんの森出版